



ハイドパーク・ミュージック・フェスティバル実行委員会

会場の狭山稲荷山公園にて、「一人でも多くの人に協力してもらいたい」と語る皆さん。現在ボランティアを募集中です

狭山の元気 発見



「生の演奏を狭山で」…その思いが集まって今、甦る よみがえ

この地で生まれ・歴史に刻まれた価値ある音楽

春は満開の桜、夏は青々と生い茂る木々、秋は趣のある紅葉と、四季折々に美しい表情で私たちを魅了する狭山稲荷山公園。市民の皆さんにとって、身近で、憩いの場でもあるこの公園は、以前アメリカ空軍の将校用住宅地区だったことから、周辺の米軍ハウスとともに「アメリカの風」を肌で感じられる場所として愛されました。そして、1960年代末から70年代の初めにかけて、アメリカ文化に憧れる多くの若者がその米軍ハウスに移り住んだのです。

当時、ハウスに住んだ若者の中には、日本の音楽史に輝かしい足跡を残したミュージシャンがいました。狭山市と人間市に点在する米軍ハウスを拠点に、夢を語り、創作活動に没頭していた若者たち…細野晴臣、小坂忠、洪栄龍など、日本のロック界を切り開いたとも言える偉大なミュージシャンが、その若者たちです。その彼らが、再びこの狭山に集います。9月3日と4日に行われるハイドパーク・ミュージック・フェスティバル。狭山で育ち、音楽を愛する人たちによる音楽の大イベントです。きっかけは、些細なことでした。約3年前から毎週恒例となっている、仲間同士の自転車ツーリング。そのとき仲間の一人から今も米軍ハウスにお住まいの音楽プロデューサー、麻田さんへ発せられたこの公園でコンサートを「の言葉が引き金となってハイドパーク・ミュージック・フェスティバル実行委員会」が立ち上げられました。通常、コンサートなどのイベントは専門の会社が企画から運営までを行います。がこのフェスティバルに携わるのは、すべて市民です。それも委員長の麻田さん以外、音楽を仕事としている人はおらず、それぞれが違う職業を持つため、打ち合わせができるのは週に1回程度。それでも、全員がボランティアでフェスティバルの成功に向けて心血を注いでいます。



そんな皆さんを動かす力となっているのは、何よりも「音楽が好き」という思い。そしてもう一つ、豊かな緑と歴史ある狭山稲荷山公園を守りたい」という気持ちです。もし収益が出たら、公園の整備や維持のために使っていただきたいと思っています。駅前だから、だれでも足が運べるし、これほど緑が多い公園なんてそうありません。大事にしないでね」と、委員長の麻田さん。その表情からは、音楽と同様に公園の自然に対する熱い思いが溢れていました。

狭山で育った人たちの手によって、狭山で生まれた音楽が、狭山の自然に響き渡る…それは日本のロックの創成期に重要な役割を果たした音楽でもありません。音楽も自然も、時代を超えて愛されるもの。ぜひ、当時を懐かしむという方も、身近な場所に刻まれている歴史を初めて知ったという方も、晩夏の会場を訪れてみてはいかがでしょうか。

興味のある方は実行委員会HPへ
<http://www.hmf-sayama.jp/>



木村ゆりさん
(鶴の木在住)

私は約8年前から、スーパーで買い物をするときに自分のバッグを持参して、レジ袋を使いません。もったいない!と思つのはもちろん、私の買い物バッグは会計のときかこにはめて使えるので、レジ袋に入れ替える必要がなく、とても便利なのです。

最近、国がレジ袋を有料化するために法整備を進める」とい

う報道を耳にしました。法律で強制されることを嫌だと思つ人がいるかもしれないが、そのおかげで考える「一つのよいきっかけになると思います。環境のためにレジ袋一枚から行動する...」初めは面倒と思つても、やってみると意外と簡単なものです。

ところで狭山市は、「全国初のノーレジ袋デー」を行いました。市の方

レジ袋一枚から考える 未来により環境を残すため、まず、できることから



民踊会が大活躍の盆踊り大会

のコンペを開催しています。コンペでは、実家を離れて暮らす人なども参加し、交流を図ることもよい機会になっています。

また、自治会の学童たちが通う小・中学校も隣接するため、今後は、通学路の整備に配慮していただきたいと考えています。

うらやま 市況

柏原3区自治会

Assistant Language Teacher



Atcharaphan Nakamura
アチャラパン 中村 (中央中学校勤務)

タイ出身
狭山市のALTとして勤務は4年め
趣味は旅行、スキューバダイビング、
タイのクラシックダンス、読書

“The land of the rising sun” or “The land of the Sakura” is what Japan known for. For Thailand, it is widely known as “The land of smiles”. This is because many tourists are often impressed with the Thais who always wear a smile. Many call Thailand “The land of temples”. Well, with more than 90% of the Thais are Buddhist, you can see temples all around the country, the same way as you see Sakura here.

And though also known as “The land of hot & Spicy food”, in fact, few people know that the taste varies from region to region. The land of tropicalfruit like durians or rambutan or the year-round one like mangoes and jackfruits are very available everyday of the year.

「日出づる国」や「桜の国」は、日本を表す言葉として知られています。一方、タイは「笑顔の国」として知られています。それは、旅行者がいつも笑顔のタイ人に感動するからだそうです。また、多くの人が「寺の国」とも呼びます。これは、90%以上のタイ人が仏教徒で、国内どこでもお寺を見られるからです。さらに、「辛くて、香辛料の効いた食べ物」の国」としても有名ですが、実は、その味は地域で違うことはあまり知られていません。「トロピカルフルーツの国」ということも付け加えたいですね。ドリアンやランブタンのような季節もの、またはマンゴーやジャックフルーツのように一年中あるものなどが、毎日手に入ります。(英文の要約)

広報課では、皆さんの「声」をお待ちしています。
お寄せいただく際は、必ず住所、氏名、電話番号をご記入ください。
〒29546262代 Eメール koho@city.sayama.saitama.jp

担当 資源循環推進課